

2050年カーボン・ニュートラル達成に向け、大学は「知的な社会システム」の設計と普及を担う「知の拠点」として、国や地域から期待が寄せられています。

YCUでは、Net Zero社会の実現に向け多くの協力者を募り、2050年に向けBestを尽くします！

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションの概要



YCUが進めるNet Zeroのイメージ

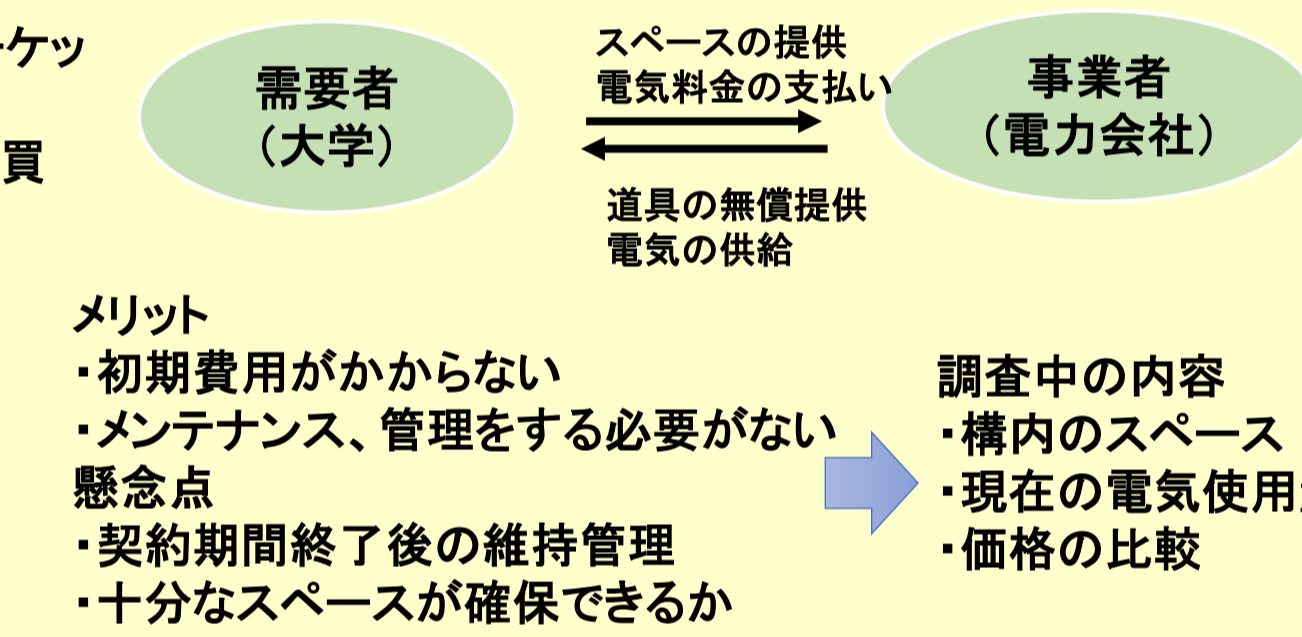


キャンパスで進めるNet Zeroのイメージ

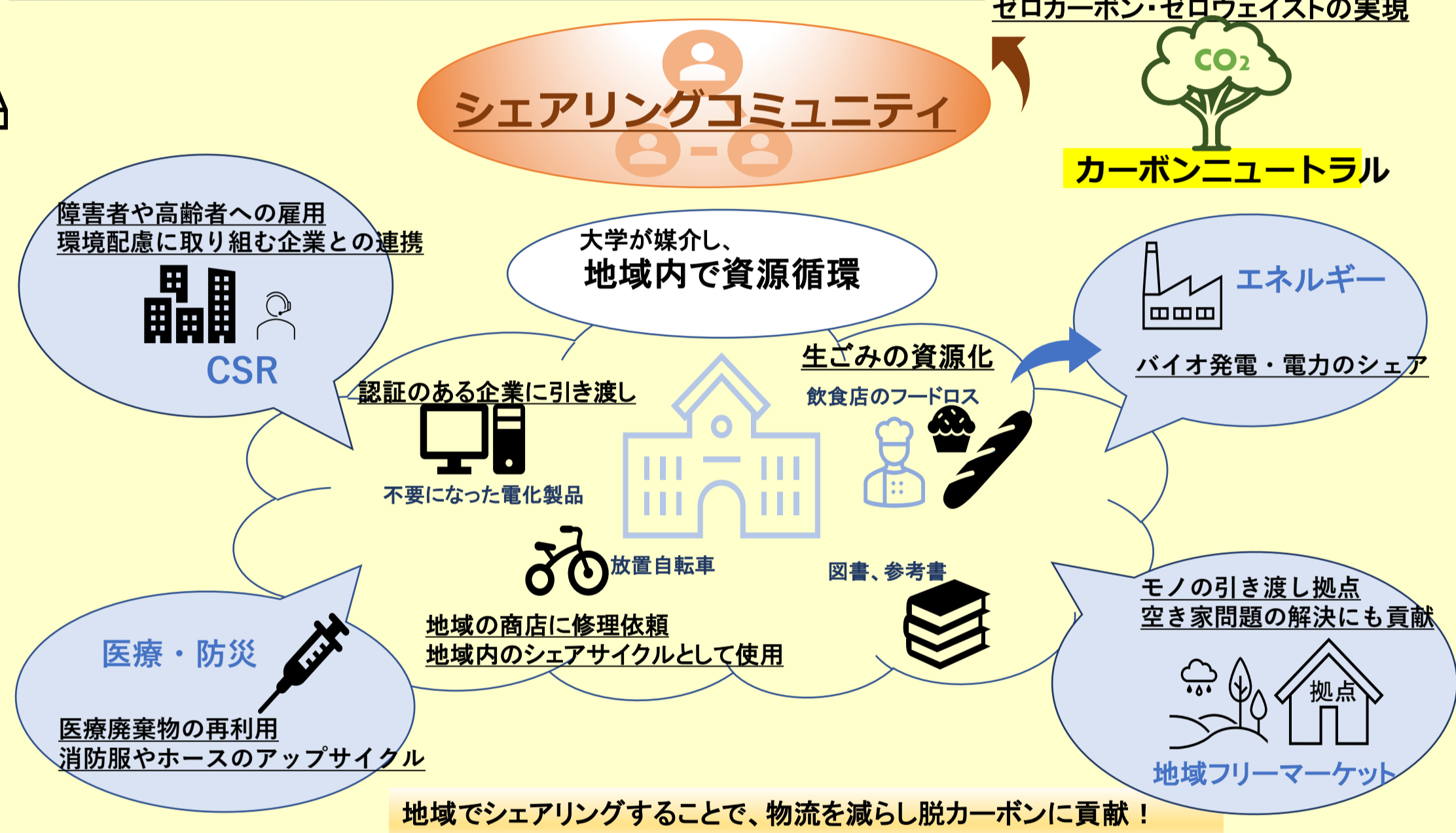
★再生可能エネルギーを導入する
屋上や構内空きスペースへ太陽光パネルを設置
→太陽光PPA事業を利用

★その他のアイデア

- 廃棄物削減**
・大学内でシェアリングやフリーマーケットができる仕組みの作成
例:不要になった教科書の譲渡、売買
構内で自転車のシェア
- ・食堂の売れ残りを学生に安く販売
- 省エネ**
・エアコンを部屋ごとに管理
*現在は一括管理



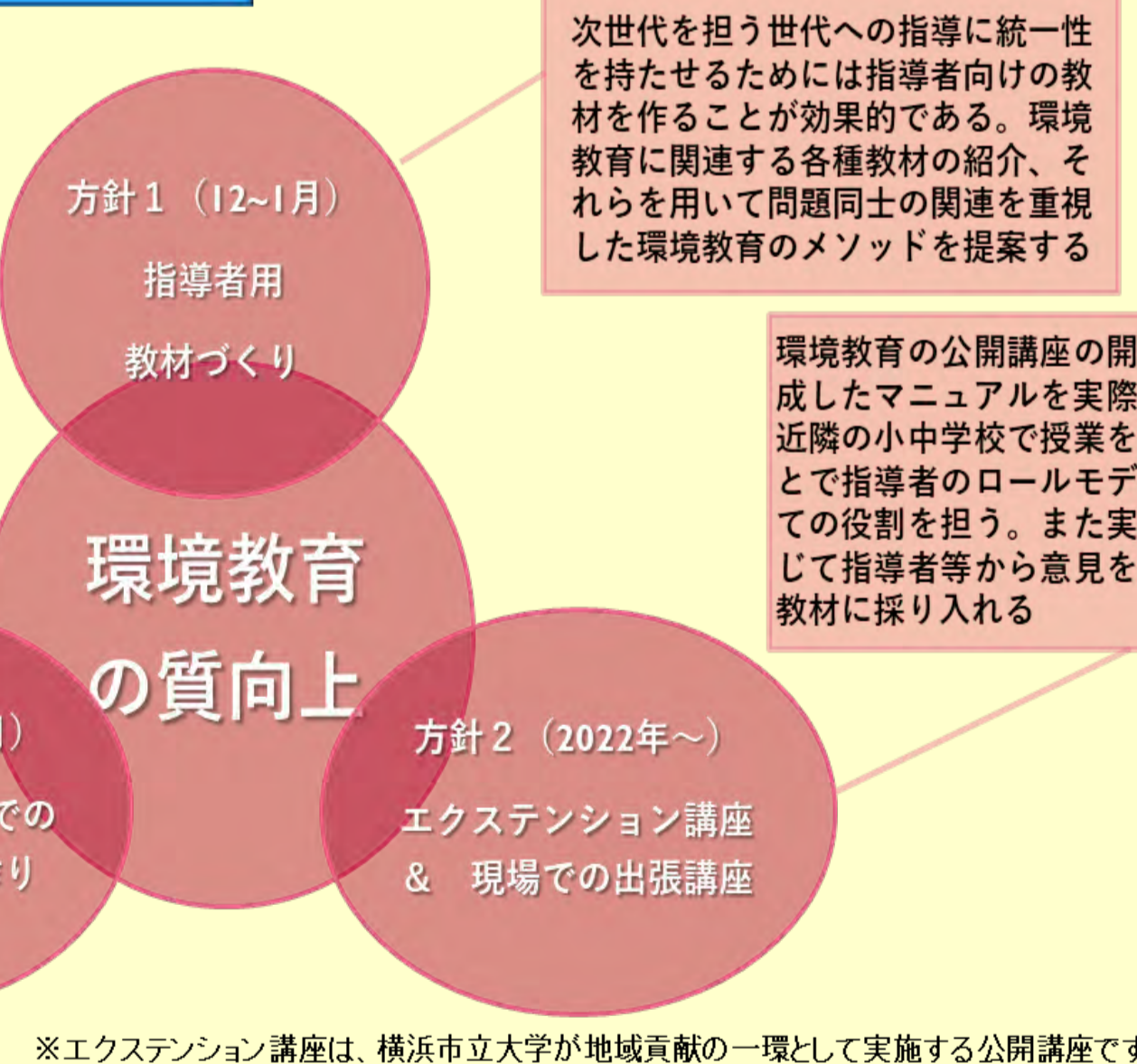
大学を拠点に地域で進めるNet Zeroのイメージ



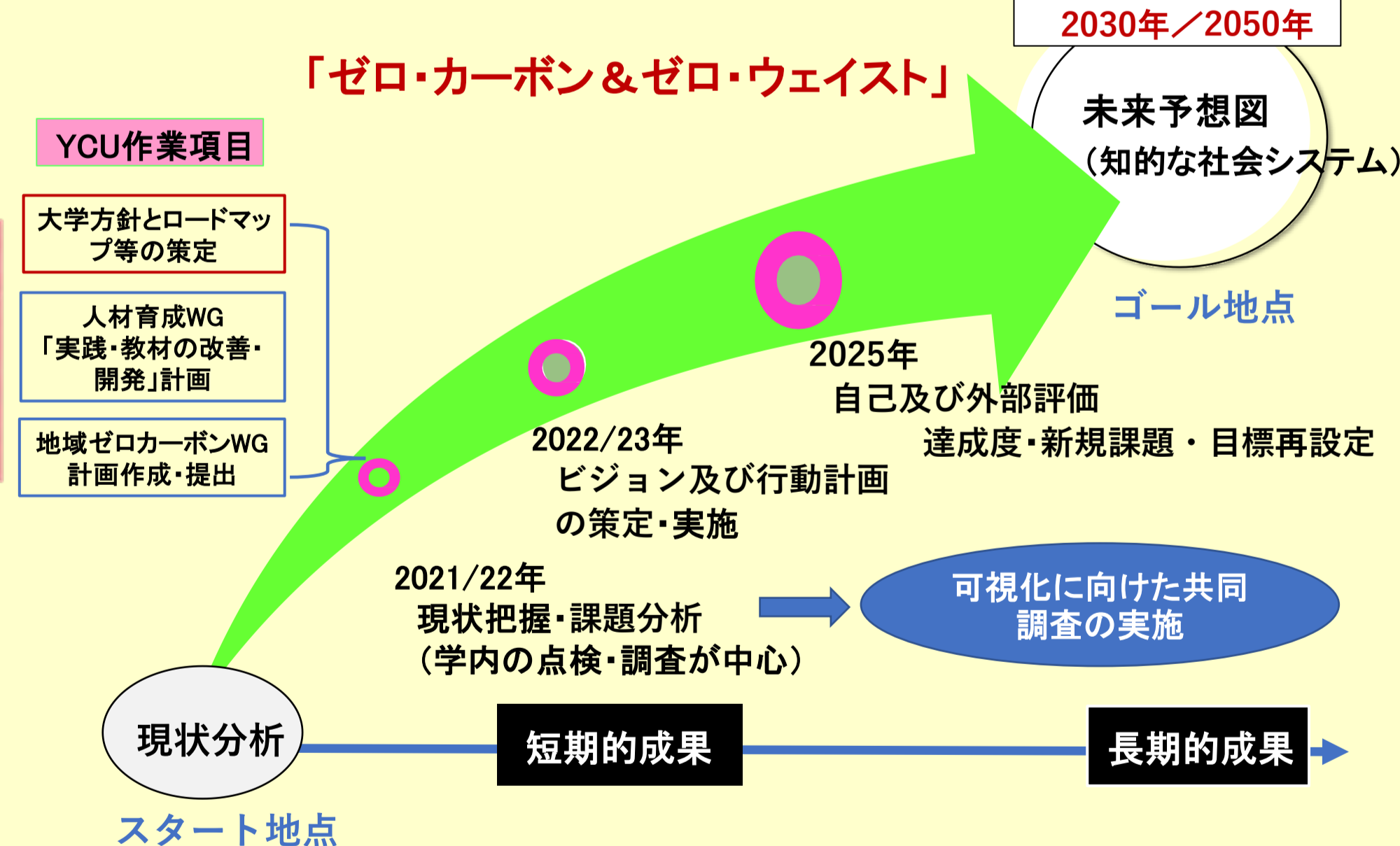
大学を中核に進める人材育成のイメージ

<カーボンニュートラル人材とは>
温暖化の抑制のために行動できる人材

<環境教育実践の現状からみた問題提起>
環境教育が学習指導要綱に組み込まれていない
→環境教育を行なっている学校もあれば、行っていない学校もあることから、環境教育の取組状況や教育の質において学校間に違いがみられる



Net Zero実現に向けた作業工程案



Net Zero実現に向けた今後の取組予定

- エネルギー源や使用方法、資源の有効利用、研究成果の可視化を行い、ゼロカーボンに向けた取組を推進する
- 大学は地域防災拠点を担うため、再生可能エネルギーの規模や使用用途を調査し、利活用について検討する
- 再生可能エネルギーを用いた小規模で自立した発電システムを企業等と連携し整備・拡充する方法を検討する
- 地域内でサーキュラーエコノミーが行えるネットワークと実施体制づくりについて検討する
- 緑豊かな大学キャンパスを、さらにエコキャンパス化するために植林や治水を行い、市民に開かれた場にする
- SDGsやゼロカーボンの取組について学習することができるリカレント教育の機会を提供していく

Net Zero社会の実現に向け、事業者や学校関係者等へ協力をお願いしています

